

講義シラバス

科目名	美容技術理論	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	飯嶋美智江	講師 プロフィール	異業種より美容業界へ転職し、美容師と着付け師範の資格を取得。サロンワークを経て、美容学校の教職に就き28年目を迎える。これまでの国家試験科目を含む実技指導の経験を活かした授業を心掛け、現在は美容技術理論を担当。						

【授業を通じての到達目標】

国家試験に向けた出題傾向と過去問対策を中心に、幅広い展開の授業で合格レベルの知識と応用力・判断力を身につける。

【学習内容】

専門的分野に広げた専門用語・技術や道具などの解説、受験対策として4択問題を中心に読解力の強化を図る。

【使用教科書・教材・参考図書】

美容技術理論①・②教科書、B5判ノート、筆記用具、A4サイズポケットファイル(30ポケット)

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

教科書の写真・図の理解を深める。ワークブック過去問対策(コピー使用)

日時	授業計画	日時	授業計画
① (9/28)	【到達目標】 授業の意味を理解してもらう 定期試験フィードバック<教科書①> 各自の弱点、理解できていない項目を自覚する。	⑨ (11/30)	【到達目標】 教科書① ワークブックより発展した解説を中心として、各項目ごとに重点的に応用力を身につける。 <人体各部名称、作業姿勢、美容用具>
② (10/5)	【到達目標】 教科書②スタート エステティック <肌質のタイプ、基本手技、フェイシャルケア、パック>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。	⑩ (12/7)	【到達目標】 教科書① ワークブックより発展した解説を中心として、各項目ごとに重点的に応用力を身につける。 <シャンプー・ヘアカッティング>
③ (10/12)	【到達目標】 ネイル技術① <種類と爪の構造と機能・名称、カット形状、マニキュア技術の道具と手順>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。	⑪ (12/14)	【到達目標】 教科書① ワークブックより発展した解説を中心として、各項目ごとに重点的に応用力を身につける。 <ヘアセッティング、ヘアデザイン>
④ (10/19)	【到達目標】 ネイル技術② <アーティフィシャルネイル技術の種類と道具、チップ・ジェル・リベアの違い>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。	⑫ (12/21)	【到達目標】 教科書① ワークブックより発展した解説を中心として、各項目ごとに重点的に応用力を身につける。 <パーマメントウェーブ、ヘアカラーリング>
⑤ (10/26)	【到達目標】 メイクアップ① <理論、道具、スキンケア、ベースメイク>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。	⑬ (1/11)	【到達目標】 教科書② ワークブックより発展した解説を中心として、各項目ごとに重点的に応用力を身につける。 <エステティック、メイクアップ>
⑥ (11/2)	【到達目標】 メイクアップ② <アイメイク、アイブロウ、リップ、ブラッシュオン、まつエク>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。 ※日本髪① 名称と種類	⑭ (1/18)	【到達目標】 教科書② ワークブックより発展した解説を中心として、各項目ごとに重点的に応用力を身につける。 <ネイル技術、日本髪、着付け技術>
⑦ (11/9)	【到達目標】 日本髪② <装飾品・小物、技術手順>/着付け②<一般的要領、小物、たたみ方、和装花嫁>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。	⑮ (1/25)	【定期試験】60点 <定期試験> 4択問題を中心に行い、読解力と応用力を鍛えることを目的とする。
⑧ (11/16)	【到達目標】 ※授業配信 保護者向け 着付け① <礼装、着物のいろいろ、帯>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	
【履修に当たっての心構え・留意点】 問題意識をもって授業への参加を心がけよう!!			

講義シラバス

科目名	美容実習(ワインディング)	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	実習	総時間数	45 時間
学科	美容師科			コース		学年	2年生		
講師名	北俣京子	講師 プロフィール	市内サロン就職 その後北海道美容専門学校勤務 数年前よりベルエポック美容専門学校講師として勤務						
【授業を通じての到達目標】									
国家試験合格基準まで到達する									
【学習内容】									
基礎的技術と 衛生面の取り扱いの徹底									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
WD用具一式・プリント・筆記用具・名札									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/27)	【到達目標】 基本通り1本1本を正確に巻く 全頭 21分				⑨ (11/29)	【到達目標】 国家試験 衛生基準が守られている 個々の苦手部分を強化しレベルを上げる 全頭 18分			
② (10/4)	【到達目標】 姿勢を含め 動作を早くする 全頭 21分				⑩ (12/6)	【到達目標】 国家試験 衛生基準が守られている 個々の苦手部分を強化しレベルを上げる 全頭 18分			
③ (10/18)	【到達目標】 オンベース オフベース 正確性を強化する 全頭 20分				⑪ (12/13)	【到達目標】 国家試験 衛生基準が守られている 個々の苦手部分を強化しレベルを上げる 全頭 18分			
④ (10/25)	【到達目標】 左右のシンメトリーの正確性強化する 全頭 20分				⑫ (12/20)	【到達目標】 国家試験 衛生基準が守られている 全体のバランス、左右のシンメトリー、ラウンド、面、ゴムの掛け方を正確にする 全頭 18分			
⑤ (11/1)	【到達目標】 全体のバランス、左右のシンメトリー、ラウンド、面、ゴムの掛け方を正確にする 全頭 20分				⑬ (1/10)	【到達目標】 国家試験 衛生基準が守られている 全体のバランス、左右のシンメトリー、ラウンド、面、ゴムの掛け方を正確にする 全頭 18分			
⑥ (11/8)	【到達目標】 国家試験 衛生 用具や持ち物について理解する 全頭 20分				⑭ (1/17)	【到達目標】 国家試験合格基準 全頭 18分			
⑦ (11/15)	【到達目標】 国家試験 衛生 用具や持ち物について理解する シンメトリー ラウンド 面 ゴムの掛け方が出来ている 全頭 20分				⑮ (1/24)	【定期試験】50 衛生面 技術 国家試験合格基準 時間内完成 20分			
⑧ (11/22)	【到達目標】 国家試験 衛生 用具や持ち物について理解する シンメトリー ラウンド 面 ゴムの掛け方が出来ている 全頭 20分				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	ヘアアレンジ・メイク&特殊メイク	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース	ヘアメイク専攻			学年	2年生		
講師名	アトリエ/蓮川	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが所属するヘアメイク事務所です。						

【授業を通じての到達目標】

様々なテーマに合わせたヘアセットとメイクをモデルに合わせて出来るようになる

【学習内容】

ヘアメイクの基礎技術と応用を学び、テーマに合わせた作品作り

【使用教科書・教材・参考図書】

ヘアメイク道具一式

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】 小テスト3点		【到達目標】 小テスト3点
① (9/26)	【夜会着き】をテーマにウィッグ、相モデルでヘアメイクの施術が出来るようになる。	⑨ (11/21)	【化粧品ブランド】をテーマに相モデルでヘアメイクの施術が出来るようになる。
② (10/3)	【カラー】をテーマに相モデルでヘアメイクの施術が出来るようになる。	⑩ (11/28)	【ブライダル】をテーマに相モデルでヘアメイクの施術が出来るようになる。
③ (10/10)	【写真映えメイク】をテーマにセルフメイクを行い、提示した画像のヘアスタイルをウィッグに施術が出来るようになる。(オンライン授業)	⑪ (12/5)	【ブライダル お色直し】をテーマに相モデルでヘアメイクの施術が出来るようになる。
④ (10/17)	【舞台メイク】をテーマに相モデルでヘアメイクの施術が出来るようになる。	⑫ (12/12)	【成人式】をテーマに相モデルでヘアメイクの施術が出来るようになる。
⑤ (10/24)	【傷メイク】をテーマに相モデルでヘアメイクの施術が出来るようになる。	⑬ (12/19)	グループでテーマを決め、それに基づいたヘアメイク作品を作るようになる。
⑥ (10/31)	【ハロウィン】をテーマに相モデルでヘアメイクの施術が出来るようになる。	⑭ (1/16)	グループでテーマを決め、それに基づいたヘアメイク作品を作るようになる。(テスト練習)
⑦ (11/7)	【雑誌】をテーマに相モデルでヘアメイクの施術が出来るようになる。	⑮ (1/23)	【定期試験】50 グループで決めたテーマのヘアメイク作品を作るようになる。
⑧ (11/14)	【国】をテーマにヘアメイクの施術が出来るようになる。	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

講義シラバス

科目名	香粧品化学	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	講義	総時間数	15 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	山下賢司	講師 プロフィール	理系の分野を専門として、受験生を対象に指導を行っている。 札幌ベルでは、物理・化学、香粧品化学を中心に美容師国家試験の筆記対策を担当。						

【授業を通じての到達目標】

美容の施術を行う上では、様々な香粧品が使用されている。また、私たちは日常生活でも様々な香粧品を使用している。これら香粧品は、化学と密接な関係があり、その性質や特徴を理解することが安全性の上でも重要であり、正しい知識を持つことが必要であると認識する。

【学習内容】

香粧品について学ぶ上で必要な「化学の基礎的な内容」を学習した後、香粧品についての概論、および、香粧品の成分となる様々な原材料について学ぶ。

【使用教科書・教材・参考図書】

香粧品化学教科書、問題集、プリント、内容によっては実験器具
筆記用具、ノート(ルーズリーフ可)は必ず持ってくること。

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

宿題orノート提出があるかも…

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (9/28)	石けんに代表される皮膚洗浄用香粧品は、美容とはあまり関連性はないと思うかもしれない。ただし、皮膚の健康を維持する上では重要なことであり、正しい知識をつける必要がある。	⑨ (11/30)	パーマ剤 その二 パーマの技術は酸化・還元反応を利用しており、これは、人体への影響が大きい化学反応である。 安全性の確保のために、しっかりと知識と技術が必要であり、化学基礎で習った酸化・還元反応とパーマの原理を結びつけ、理解できるようになる。
② (10/5)	化粧水、クリーム乳液などは、皮膚洗浄用香粧品と同様に皮膚の健康を維持する上で重要な香粧品である。 正しい知識を身につけ、各香粧品の成分や使用目的について理解する。	⑩ (12/7)	ヘアカラー製品 その一 カラー製品の種類と染毛メカニズムについて理解する。 特に酸化染毛剤や脱色剤は、パーマと同様、酸化・還元反応を利用したものである。安全性の確保のために、しっかりと知識と技術が必要であり、化学基礎で習った酸化・還元反応と 酸化染毛剤、脱色剤の原理を結びつけ、理解できるようになる。
③ (10/12)	化粧水、クリーム乳液などは、皮膚洗浄用香粧品と同様に皮膚の健康を維持する上で重要な香粧品である。 正しい知識を身につけ、各香粧品の成分や使用目的について理解する。	⑪ (12/14)	ヘアカラー製品 その二 カラー製品の種類と染毛メカニズムについて理解する。 特に酸化染毛剤や脱色剤は、パーマと同様、酸化・還元反応を利用したものである。安全性の確保のために、しっかりと知識と技術が必要であり、化学基礎で習った酸化・還元反応と 酸化染毛剤、脱色剤の原理を結びつけ、理解できるようになる。
④ (10/19)	現在では、ネイルやまつ毛エクステンションも行っている美容所にも増えてきている。特にまつエクは、美容師でなければ施術はできないとされており、安全性の確保のためにも 技術とともに正しい知識が必要であることを理解する。	⑫ (12/21)	脱毛の原因を知り、その種類ごとに配合される成分の種類と目的を知る。 育毛・美毛剤の種類と機能による分類を理解する。
⑤ (10/26)	シャンプー剤・リンス剤・スタイリング剤 その一 シャンプー、リンス剤やスタイリング剤は、美容師にとっては最も身近な香粧品ともいえる。これらに配合されている成分とその目的について学び、理解する。	⑬ (1/11)	香料の種類と調合香料について学び、芳香製品についても理解する。
⑥ (11/2)	シャンプー剤・リンス剤・スタイリング剤 その二 シャンプー、リンス剤やスタイリング剤は、美容師にとっては最も身近な香粧品ともいえる。これらに配合されている成分とその目的について学び、理解する。	⑭ (1/18)	サンケア製品、美白用香粧品、制汗・防臭剤の配合成分と使用目的について理解する。 サンケア製品に関しては、紫外線とともに学習する。
⑦ (11/9)	4S前半の復習 基礎香粧品、メイクアップ用香粧品、及び、シャンプー剤・スタイリング剤について、最低限の知識を持ち、理解できるようになる。	⑮ (1/25)	【定期試験】50 絶対評価(四択問題、50問の出題、1問1点の50点満点) 出題文章の内容を確実に読み取り、その正解が導けるようになる。 各自、後期への心構えを行う。
⑧ (11/16)	【到達目標】 パーマ剤 その一 パーマの技術は酸化・還元反応を利用しており、これは、人体への影響が大きい化学反応である。 安全性の確保のために、しっかりと知識と技術が必要であり、化学基礎で習った酸化・還元反応とパーマの原理を結びつけ、理解できるようになる。		【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。
【履修に当たっての心構え・留意点】			
聞いたり見たりしたことは、自ら書いたり言葉にして発することで知識が定着します。 授業内容は、各自ノートにしっかり書いて、提出してもらいます。			

講義シラバス

科目名	美容総合(トレンドカット&カラー)	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	実習	総時間数	30	時間
学科	美容師科			コース	ヘアスタイリスト専攻	学年	2年生			
講師名	袁島 竜二	講師 プロフィール	2007年zerohair入社、トップスタイリスト 社内技術指導担当、主にカットを指導しています ディーラー、メーカー、他サロンなどの外部講師も務める。コンテスト等にも積極的に参加 し受賞歴多数							
【授業を通じての到達目標】										
サロンワークでのヘアスタイルをイメージし、デザインやカラーを考え作れるようになる										
【学習内容】										
カットからスタイリングまでの技術を用いてサロンスタイルのデザインカやカラーの似合わせを身につける										
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】					
ウィッグスピロ102、カット ブロー スタイリング道具一式					時間内にできなかった技術の習得					
日時	授業計画				日時	授業計画				
① (9/26)	【到達目標】2 カット サロンスタイルに必要な考え方、ヘアスタイルを確認することができるようになる ウィッグ8				⑨ (11/21)	【到達目標】2 カット テーマと同じものをコピーカットできるようになる ウィッグ10				
② (10/3)	【到達目標】2 カラー テーマと同じものをカラーできるようになる ウィッグ8				⑩ (11/28)	【到達目標】2 カット テーマと同じものをコピーカットできるようになる ウィッグ10				
③ (10/10)	【到達目標】オンライン・課題 2 オンラインでのデモを見てサロンスタイルのカット、仕上げを学ぶ				⑪ (12/5)	【到達目標】2 カット テーマと同じものをコピーカットできるようになる ウィッグ10				
④ (10/17)	【到達目標】2 カット テーマと同じものをコピーカットできるようになる ウィッグ8				⑫ (12/12)	【到達目標】2 カラー ヘアスタイルに合わせてカラーを考え染められるようになる ウィッグ10				
⑤ (10/24)	【到達目標】2 カラー テーマと同じものをカラーできるようになる ウィッグ8				⑬ (12/19)	【到達目標】2 カラー イメージしたものを事前にカラーで表現できるようになる ウィッグ11				
⑥ (10/31)	【到達目標】2 カラー イメージしたものを事前にカラーで表現できるようになる ウィッグ9				⑭ (1/16)	【到達目標】2 カラー イメージしたものを事前にカラーで表現できるようになる ウィッグ11				
⑦ (11/7)	【到達目標】2 カラー イメージしたものを事前にカラーで表現できるようになる ウィッグ9				⑮ (1/23)	【定期試験】60 定期試験 時間内にカットの正確さ、スタイリングの精細さ、デザイン性があるか、テーマに沿ったヘアデザインを作る ウィッグ11				
⑧ (11/14)	【到達目標】14 中間テスト 習ったことを踏まえてデザインを考えカットスタイリングをする ウィッグ9				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】										
遅刻、欠席、忘れ物がないことが望ましく万が一の場合は事前に授業内容を										